

今日は、いじめについて考える日になっていますので、今日はいじめについてみんなで考えてみましょう。

みなさんは学校で生活していて、これはいじめだということはありませんか。全国の学校でのいじめは残念ながらなくなっていません。毎年テレビや新聞で、いじめによる自殺など悲しい事件が起きています。

皆さんは「いじめ防止対策推進法」少し長くて難しい名前だけど知っていますか。これは、子どもたちが安心して学習や活動に取り組めるために、いじめがなくなるようにする、いじめとわかっていながら、そのままにすることがないようにする法律です。その法律では「児童はいじめを行ってはならない」と定められていて、いじめは法律で禁止されているのです。いじめとは、クラスや学校の人から攻撃されたり、無視されることによって、心や体に痛みを感じることです。いじめには、からかい、いやがらせ、悪口、陰口、無視、仲間外し、暴力、落書きをされる、持ち物を隠される、わざとぶつかるなどがあります。こんなことをしたり、されたりしたことはありませんか。天下茶屋小学校ではどうでしょうか。こんなデーターがあります。昨年行われたテストの質問調査で「いじめはどんな理由があってもいけない」の質問に

97.2%がはいと答えています。ほとんどの人がいじめはしてはいけないことと思っているのです。だけどいじめはいつでも、どこにでも、だれにでも起きる可能性があるのです。もっと言うと、するの、されるの、されないの、させないの、みているの、みてみぬふりをするの、全部皆さんの行動次第なのです。

皆さんにお願いがあります。自分や友達がいじめや仲間外れにあったら、自分や友達を守るために、遠慮せずに周囲の人、先生や家族に話すことです。「ゆうたな！」という人がいますが全く気にする必要はありません。なぜなら人を陥れるために話すのではなく、人を救うためだからです。やってはいけないことをしている仲間や友達をそのままにしておくことは、仲間や友達を見捨てることを意味しています。

もう少しお話しさせてください。言うまでもなく、皆さんにとって、一番大切なのは「いのち」です。皆さんは命をいくつ持っていますか？一つです。命は一人に一つ、かけがえないものです。ですから、命は全力で守らなければなりません。

毎日、嬉しいことや楽しいことばかりではありません。苦しいことも辛いこともあります。それは当たり前です。生きて

いるからこそ、色々なことがあって当たり前なのです。スポーツや習い事も同じですね。簡単にできることはありません。たくさんの努力をして、たくさんの苦しいことを乗り越えて、ようやく少しずつ上手になります。それでも、少し辛いなあとか、嫌だなあ、苦しいなあと思ったときに、誰かに相談できるのも学校のよいところです。学校にはたくさんの先生方やお友達がいます。困ったときは遠慮はいりません。すぐにお話をしてくださいね。